経営方針説明会



ご説明内容

トピックス

■ 1618 中期経営計画の振り返り

■ 2019年度 通期業績予想

■ 1921 中期経営計画の概要

トピックス

受注増加に対応した工場の増築

合肥アーレスティ



新鋳造丁場外観

【新鋳造工場】 2018年3月竣工

面積: 5,103㎡

【新加工工場】 2018年9月竣工 面積: 12,856㎡

【事務所棟】

2018年10月竣工 面積: 3,509㎡

アーレスティ山形



增改築部分赤枠表示

【第1加工棟】 2019年1月竣工 面積: 1,250㎡

【溶解棟】 2019年9月竣工予定

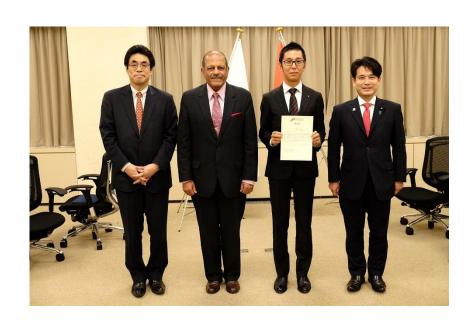
面積: 650㎡

アーレスティプリテック(豊橋工場)



【第4加工工場】 2019年9月竣工予定 面積: 4,575㎡

インドで日本式ものづくり学校に認定





2018年7月、アーレスティインディアは、経済産業省より、スズキ、トヨタ自動車、ダイキン工業、ヤマハ発動機、日立建機に続く第6号の日本式ものづくり学校として認定されました。

【日本式ものづくり学校(JIM: Japan-India Institute for Manufacturing)】 インドの製造業の発展に向けた人材育成を目的に、経済産業省とインド技能開発・起業省(MSDE)によって 2016年11月に合意された「ものづくり技能移転推進プログラム」の一環

1618 中期経営計画の振り返り

1618中期経営計画の基本方針

アーレスティ10年ビジョン

信頼を究めよう 2025



- お客様からの信頼No1
- グローバルで車の軽量化に役立つ
- 売上高2000億円+a

1618中期経営計画

①大型高難易度製品の顧客 評価No1実現

②ものづくりを究める

③生きいきと活動する 会社を築く

④収益力を高める

⑤リスク管理を徹底する

「お客様からの信頼No.1」に向けた活動

- □ ダイカスト工場の品質クレーム総件数を2015年度比56%減少
- □ その結果主要なお客様より品質関連の表彰を受賞し、信頼が向上

3年間で品質クレーム件数の削減に効果(全工場で56%減少)。特にアメリカ工場のクレーム件数は2015年度比70%減少し、生産の安定化・生産性向上などにも成果。

向上などにも成果。



2018年度は、スズキ、マルチスズキ、瀋陽三菱、ジヤトコ、豊田自動織機など、当社の主要顧客より品質関連の表彰を受賞いたしました。



営業活動による受注増加(グローバルで車の軽量化に役立つ活動)

- □ エンジン・トランスミッション部品に加え電動化部品の受注を獲得
- □ 2021年度は2018年度比1割以上の売上増加を見込む



人材育成

- 教育体系や教科書の見直しが完了し、グローバルで同一水準の教育・訓練の実行に移行
- □ 国内外同一水準での現場管理監督者教育が進捗

グローバルRSTラーニングの【定着】

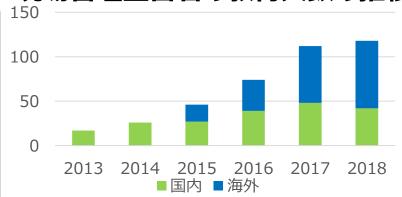
ものづくりを究める人材育成

教育体系を整備運用して人材育成を強化 社員のモチベーション向上 社員の知識、技能のレベルアップ

(1618の成果)

- ◆ グローバル統一カリキュラムの展開 国内だけでなく、海外6拠点でも開講 (2018年度受講者数 2,008人)
- ◆ 国内外で現場管理監督者育成教育を確立

現場管理監督者の教育人数の推移





1618中期経営計画 経営目標値

- □ 中期経営計画の売上高目標は為替影響除けば1,513億円と到達
- 収益面では、製品価格の値引きや人件費・燃料費などの上昇を補えるような収益改善が不足。特にアメリカ工場の生産性改善に時間を要し、減損損失の影響等もあり未達

	2015年度 (実績)	2016年度 (実績)	2017年度 (実績)	2018年度 (実績)	1618中期 経営計画
売上高 (億円)	1,444	1,366	1,451	1,454	1,500
営業利益率	3.7%	5.1%	3.3%	2.2%	5.5%
総資産利益率 (ROA)	1.4%	3.4%	2.5%	0.3%	3.0%
自己資本利益率(ROE)	3.3%	7.6%	5.4%	0.7%	7.0%

2019年度 通期業績予想

2019年度 通期計画

(単位:百万円)

(単位:百万円)

	2018年度(利益率)		2019年度 計画(利益率)		前期比増減	
売上高	145,428	_	134,000	_	△11,428	△7.9%
営業利益	3,228	(2.2%)	2,700	(2.0%)	△528	△16.4%
経常利益	2,905	(1.9%)	2,500	(1.8%)	△405	△13.9%
当期純利益	421	(0.2%)	1,700	(1.2%)	1,278	303.7%
EPS (円)	16.26		65.60			

(単位:百万円) 売上高増減要因

2018

地金市況 販売量減

影響

145,428 会計基準の改定 による影響 約13億減 $\triangle 2,366$ ^2,556 △1,387 △2,074 134,000 △3,045

コストタ゛ウン

製品ミックス

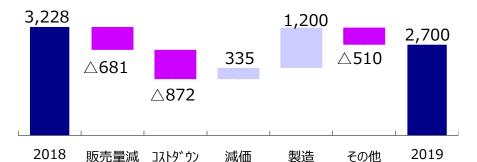
為替影響

人民元 16.69円 実績の為替レート(通期平均): USD 米110.72円 メキシコ110.58円 ルピー 1.59円

その他

2019

計画の前提レート : USD 107.0円 人民元 16.0円 ルピー 1.50円



償却費減

コスト減

営業利益増減要因

設備投資・減価償却の動向

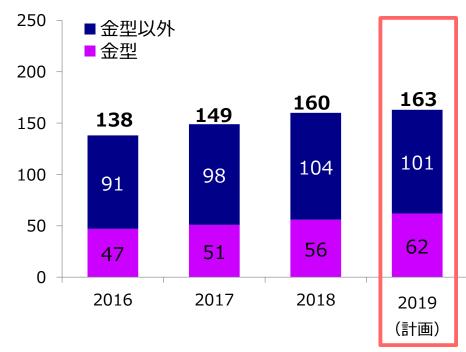
2019年度

- 投資内容 ダイカスト:能力維持、合理化投資を中心 加工:海外拠点の能力拡充投資を中心
- 設備投資金額:合計284億円(一般設備投資 219億円、金型投資 65億円)

設備投資額の推移(単位:億円)

当初計画 ■金型以外 (計画238) ■金型 (計画)

減価償却費の推移(単位:億円)



配当

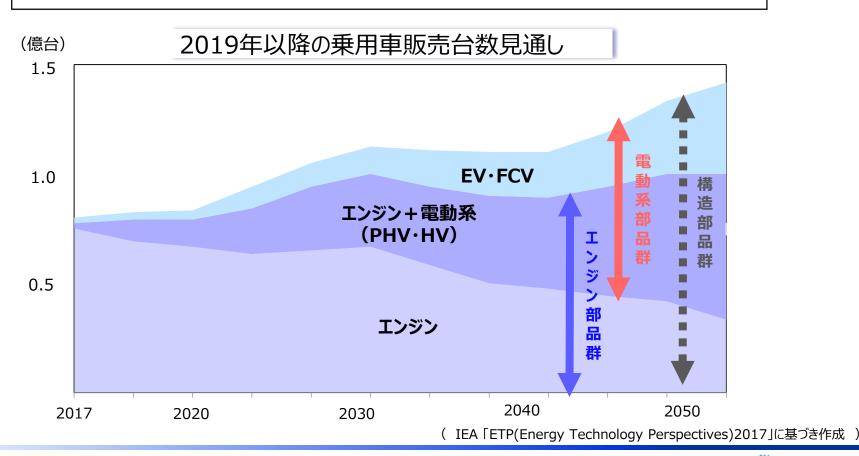
- > 2018年度は期初計画の下方修正を行い、配当についても期初計画から中間配当は2円、期末 配当も2円減配し年間22円の配当を実施
- ▶ 2019年度は、年間22円の配当を予想
- ▶ 中長期的な企業成長に必要な経営基盤や配当性向等を勘案し適正な利益還元を推進
- ▶ 自己株式の取得を実施(総数:580,000株 総額:300百万円)

1株当たり配当金	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度 予想
(年間)	20	26	22	22
中間配当	8	12	10	10
期末配当	12	14	12	12
1株当たり純損益(連結)	178.77	133.40	16.26	65.60
配当性向(連結)	11.2	19.5	135.3	33.5

1921 中期経営計画の概要

1921 中期経営計画の基本方針

- ①将来の自動車市場を見据えた事業戦略
- ②生産性向上、品質向上による稼ぐ力のアップ
- ③企業の成長を支えるひとづくり

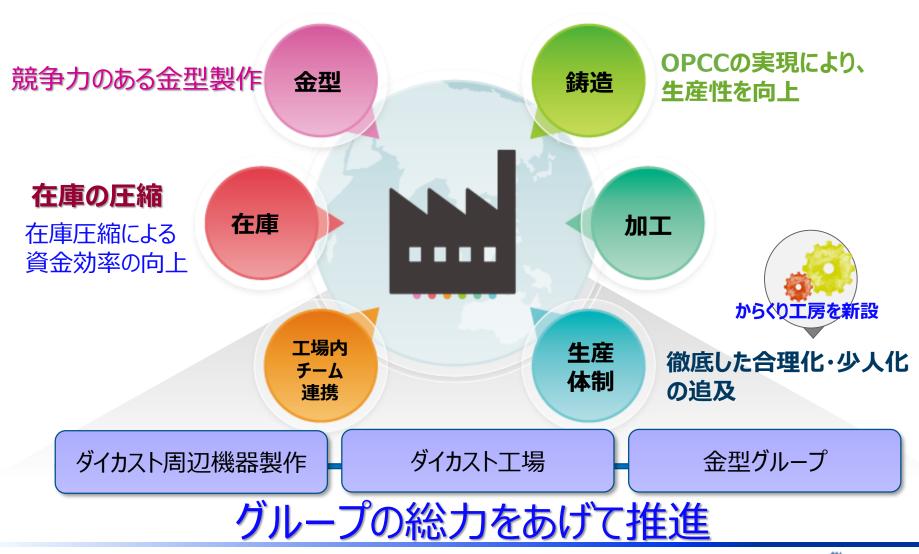


営業活動による受注増加(再掲)

- □ エンジン・トランスミッション部品に加え電動化部品の受注を獲得
- □ 2021年度は2018年度比1割以上の売上増加を見込む



生産性向上、品質向上による稼ぐ力のアップ



企業の成長を支えるひとづくり



安全で働きやすい 職場の実現に向けた 取り組み

作業負荷の低い職場の実現

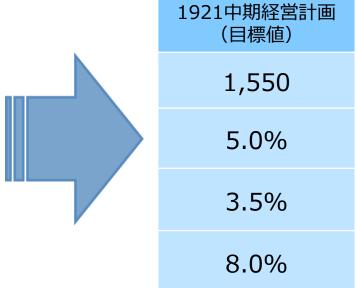
快適な作業環境の実現

事故・災害の撲滅



1921中期経営計画 目標値

	2018年度 (実績)	2019年度 (計画)	
売上高(億円)	1,454	1,340	
営業利益率	2.2%	2.0%	
総資産利益率 (ROA)	0.3%	_	
自己資本利益率(ROE)	0.7%	_	

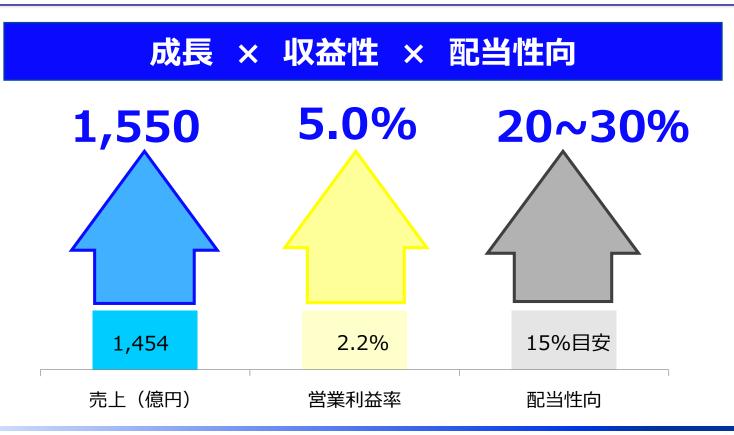


中長期的な事業発展・企業成長のための財務体質と経営基盤の強化



適正な利益還元の実施

- 3年間で18年度比約10%の売上増と利益率5.0%を目指し、適切な利益還元を行います
- 収益性の強化により、健全な財務体質を維持しながら経営の優位性を確保すべく努めます
- 従来15%を目安としていた配当性向を上げ、株主還元の拡充を目指します





視線はまっすぐ未来へ

【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】 株式会社アーレスティ 経営企画部 経営企画課 TEL 03-6369-8664

E-mail: ahresty_MP0_IR@ahresty.com

URL: https://www.ahresty.co.jp

本資料および本説明会で述べられた内容には、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が作成した将来の見通しが含まれておりますが、様々な要因により、実際の業績はこれらの見通しと異なる場合があります。